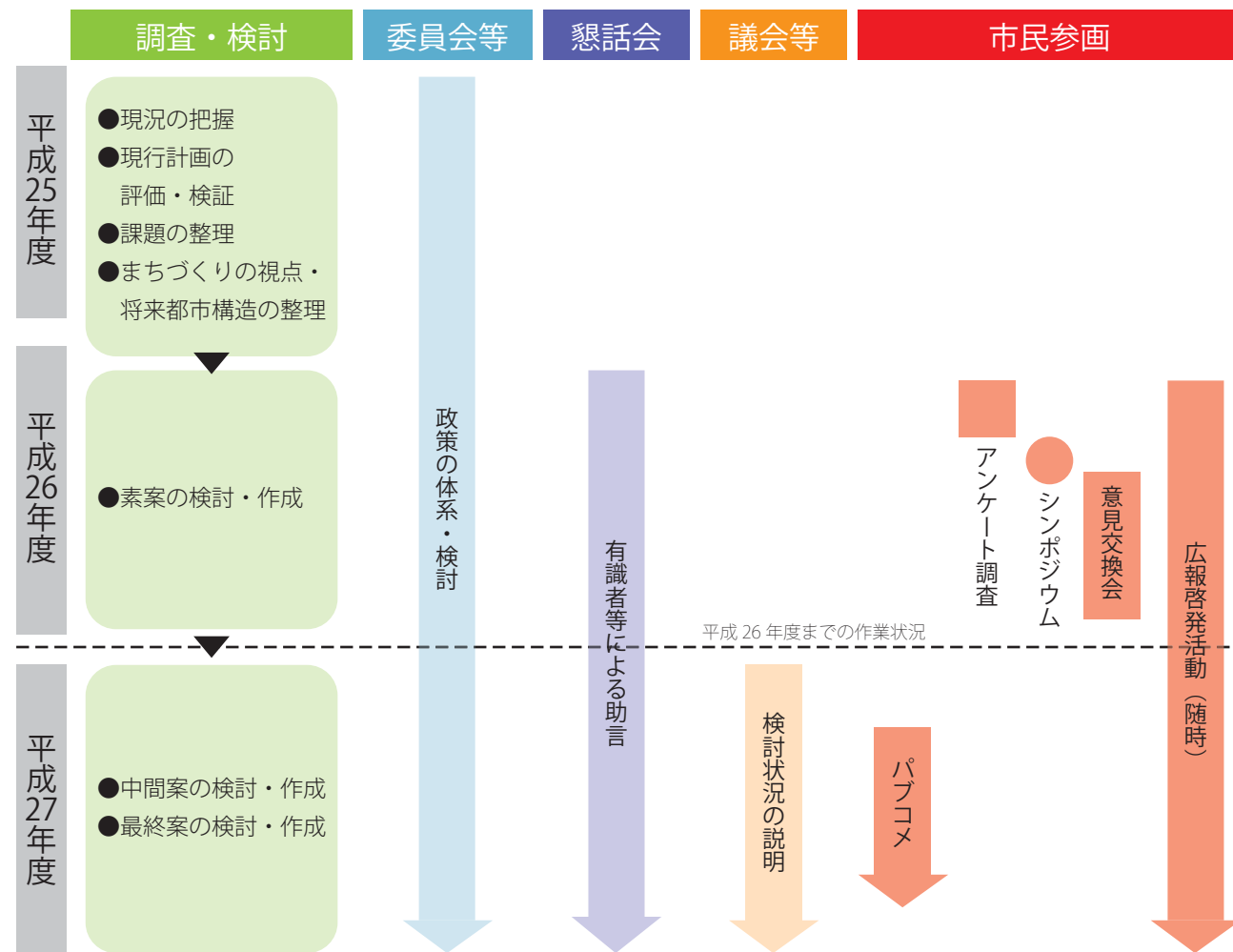


02. 改訂スケジュール

「静岡市都市計画マスタープラン」の改訂は、平成25年度から検討を進めてきました。その中で、今年度はアンケート調査やシンポジウム等を通じて市民の皆さんの意向を反映しながら、都市計画マスタープランの素案の検討・作成を進めてきました。

来年度は最終案の作成に向けて検討を進めるとともに、議会への検討状況の説明やパブリックコメントの実施を予定しています。

併せて、市のホームページや Facebook、ニュースレター等を通じて情報を発信していく予定です。



静岡市 HP、静岡市公式 Facebook もご覧ください！

静岡市都市計画マスタープランの改訂をはじめ、シンポジウムやその他の取り組みに関する情報は、静岡市 HP や静岡市公式 Facebook でも積極的に発信しています。こちらもぜひご覧ください！

静岡市都市計画マスタープラン改訂事業 HP

<http://www.shizuoka-toshimas.jp/>

静岡市 HP (都市計画課)

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/tosikeikaku/index.html>

静岡市公式 Facebook

<https://www.facebook.com/koho.shizuokacity>

SHIZUOKA トシマス vol.5

発行：静岡市 都市局 都市計画部 都市計画課
 住所：〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL：054-221-1406 FAX：054-221-1117

SHIZUOKA

2015.3

トシマス

vol.5

静岡市都市計画マスタープランのニュースレター

静岡市では現在、「静岡市都市計画マスタープラン」の改訂を通じて、今後、静岡市をどのような都市にしていくのか検討を進めています。

その際、都市計画マスタープランに関する情報を積極的に発信し、市民の皆さんから様々なご意見をいただくことが大切であると考えています。

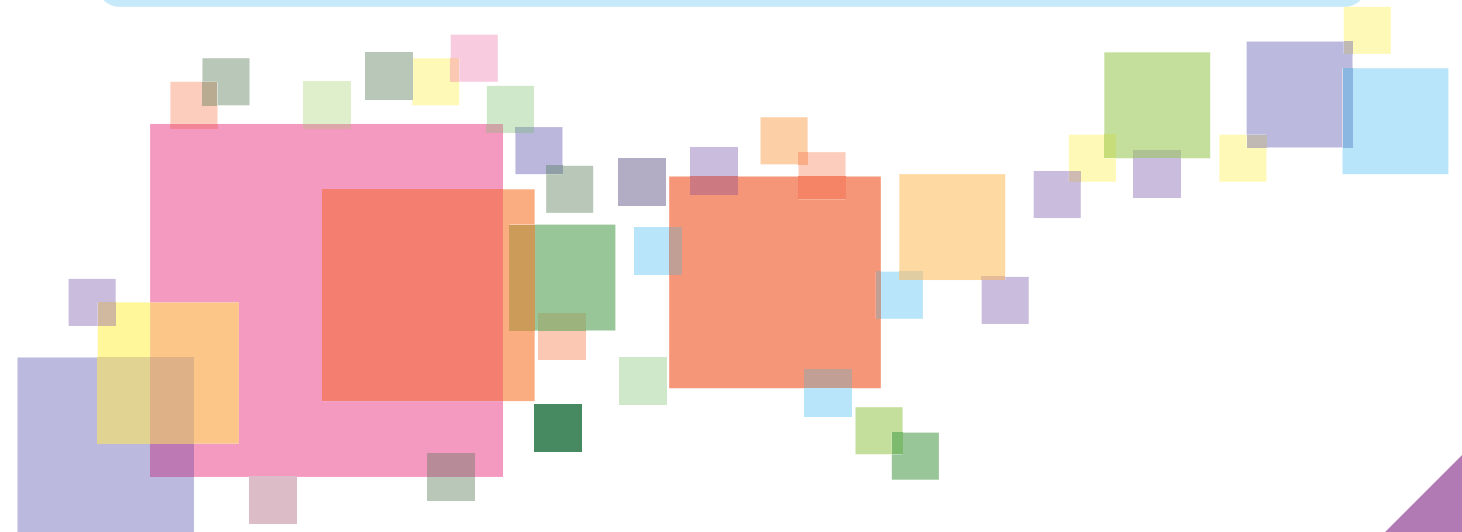
静岡市都市計画マスタープランのニュースレター「SHIZUOKA トシマス」第5弾では、今年度にアンケート調査やまちづくりカフェ（意見交換会）等を通じていただいた意見を踏まえつつ、静岡市にて検討を進めてきた「静岡市都市計画マスタープラン」の改訂内容のポイントを整理しています。

また、来年度にかけての改訂スケジュールの概要を整理しています。

なお、今年度の「SHIZUOKA トシマス」はこの第5弾で最後となります。来年度も引き続き発行予定ですので、見かけた際はぜひ手に取ってご覧ください。

INDEX

01. 平成26年度の検討結果の報告
02. 改訂スケジュール



01. 平成 26 年度の検討結果の報告

「静岡市都市計画マスタープラン」の改訂にあたっては、静岡市を取り巻く社会・経済情勢の変化に対応するため、『集約連携型都市構造』を目指すことをはじめ、内容の大きな見直しを行なっています。

本ページでは、改訂計画の構成と各章の概要について整理しています。

静岡市都市計画マスタープランの構成

概要

第1章 静岡市の現状と基本課題	①人口減少、②少子高齢化、③市街地の拡散・低密度化、④厳しさを増す都市経営の4つの観点から、静岡市を取り巻く現状・課題を整理します。
第2章 まちづくりの理念と目標	現在策定中の「第3次静岡市総合計画」や「静岡都市計画区域マスタープラン」との整合を図り、基本理念や目標、視点を設定します。
第3章 将来都市構造	①集約化拠点・ゾーンの形成とネットワーク化、②広域基盤、歴史文化・自然資源の戦略的活用の2つの観点から、静岡市が目指す『集約連携型都市構造』を整理します。
第4章 分野別の基本方針	『集約連携型都市構造』の実現に向けて、市全体として取り組む方向性について、関連計画との整合を図りながら、7つ分野に分けて整理します。
第5章 区別構想	『集約連携型都市構造』の実現に向けて、葵区・駿河区・清水区の各区での取組内容を、アンケートや意見交換会等の結果も参考にしながら、整理します。
第6章 将来都市構造実現に向けた戦略構想	『集約連携型都市構造』の実現に向けて、市が主体となってまちづくりに取り組んでいく施策を「戦略プロジェクト」として位置づけ、取組の方針を整理します。
第7章 実現化方策	『集約連携型都市構造』の実現に向けて、市民や事業者が担う役割について、アンケートや意見交換会等の結果も参考にしながら、考え方を整理します。

【まちづくりの基本理念（案）】

次の世代へつなげる・つながるまち『しずおか』
～新たな魅力を創り、価値を高める持続可能なまちづくり・まちみがき～

【将来都市構造（案）】

集約化拠点・ゾーンの形成とネットワーク化

市民生活に必要な都市機能を、都市や地域の中心となる鉄道駅周辺や交通利便性が高い地区に集約することで拠点を形成し、それらを公共交通でつなぐことで、自転車に過度に依存しない都市構造



※集約化拠点・ゾーンの形成とネットワーク化については、「SHIZUOKA トシマス」第4弾掲載後、内容を変更しています。

広域基盤、歴史文化・自然資源の戦略的活用

集約された市街地の外側の、観光・交流地（日本平・三保半島など）、産業集積のポテンシャルが高い地域では、地域を活性化させる場として賢く活用



集約連携型都市構造

将来都市構造の検討を踏まえ、課題、方向性を整理

⇒課題への対応について、第4章～第7章で整理するとともに、その他関連計画にも反映していきます。

※将来都市構造は、現在検討段階であり、引き続き検討を進めていきます。

【7つの分野】

- 土地利用
- 都市交通
- 市街地整備
- 都市環境
- 都市防災
- 都市景観
- 供給処理施設等の都市施設

【各区におけるまちづくりの目標（案）】

- | | | |
|--|--|--|
| 葵区 <ul style="list-style-type: none"> ・「人と自然」「都会と自然」が共生したまちづくり ・「絆」「安心・安全」をキーワードとした住民主体のまちづくり | 駿河区 <ul style="list-style-type: none"> ・地勢、特色を生かした住民主体のまちづくり ・若い力を活用したまちづくり | 清水区 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を活かしたまちづくり ・地域と連携したまちづくり |
|--|--|--|